

プロフィール

活動地	愛媛県松山市
団体名	愛媛大学教育学部 特別支援教育講座 TREASuRE プロジェクト
活動名称	TREASuRE (トレジャー) プロジェクト
PRポイント	生涯学習が障害のある人を地域の宝に変える！
連携している団体等	保育所、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、大学、高等専門学校、図書館、社会教育関係団体、NPO 法人、企業・事業所、病院・保健所、行政(教育委員会、保健・福祉部局)、その他(障害当事者の会)


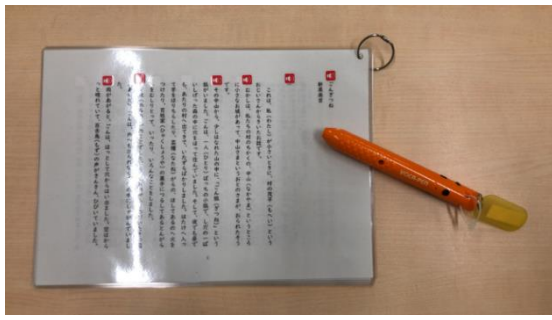
功労者表彰

活動分野	学習、情報保障、 その他(ライフスキル教育)
主な対象	知的障害、肢体不自由、 発達障害、重度・重複障害児等
団体の規模	教授 3名 学生 7名 特定教員 2名 特定研究員 3名 有期職員 16名

活動の説明

①活動内容	本プロジェクトの名称は、療育 (Treatment)、子育て (Rearing)、教育 (Education)、合理的配慮 (Accommodation)、特別支援 (Support)、研究 (Research)、愛媛県 (Ehime)の頭文字をとったもので「生涯学習が障害のある人を地域の宝に変える！」という理念を表しています。愛媛県内の障害児者支援団体(当事者会、保護者会、行政等)と連携し、学校外において、幼児期～青年期の障害児者が社会性の向上について学ぶ機会(ライフスキル教育/ソーシャルスキルトレーニング事業)を実施しています。また、支援機器(視線入力装置、会話補助装置等)を用いた生涯学習支援や読書のバリアフリー化支援(文字の音声化/デジタル化)を行うことで、様々な障害当事者の読書環境の情報保障に寄与しています。
②活動の経緯・体制	代表者・苺田知則が赴任した2005年度から、大学生・大学院生と協働しつつ、生涯学習支援事業として開始しました。協働する教職員(榎木暢子、中野広輔、八木良広、村上沙耶佳他)が増えたことで様々な障害に対応する形で事業を発展させることができました。大学内にボランティアセンターを設置し、行政、障害児者支援団体、保健医療福祉機関からも協力を得ながら、ボランティアの確保・養成に努めています。
③活動の効果等	開始当時は一研究室の小規模な取り組みでしたが、現在、本プロジェクトは、愛媛県内・四国地区の障害児者対象の生涯学習支援に関する先駆的な取組へと発展しています。特に、「学校卒業後における障害者の学びの支援に関する実践研究事業」により、ブロック別コンファレンス「O(まる)のつどい」を開催し、障害者の多様な生涯学習支援に関する地域住民の興味関心、行政・社会教育関連機関の人材の意識を高める取り組みを行っています。今後も西日本における推進役を担っていきたいと考えています。

活動の様子

	
訪問カレッジ@愛媛大学における学習の様子	会話補助装置を援用した音声読み上げによる読書支援の例